

令和3年度 全県共通事業重点メニュー
歯と口腔から始める健康生活事業



1. 主 旨

口腔は、全身の健康に影響を与えることが明らかになっています。特に歯周病は、認知症、脳梗塞、動脈硬化、心筋梗塞、肺炎、糖尿病、関節リウマチなど、様々な病気の要因となっています。歯周病の予防は、生活習慣病の予防に深くかかわるため、歯と口腔に関する知識を持つ推進委員を育成し、口腔ケアの方法や必要性などの啓発を充実して、地域の健康づくりに取り組みます。

2. 目 標

県内の歯科健診受診率は67.7%(60歳代)で、県が目標とする80%以上に達していないことから、受診率向上に向けた学習会を県内各地で開催し、推進委員をはじめ多くの方に歯と口腔に対する意識向上を図り、受診率80%を目指します。

※「第2次広島県歯と口腔の健康づくり推進計画(平成30年3月広島県)」で、2023年度の歯科健診受診率の目標を80%以上(60歳代)と設定しています。また、県内の60歳代で進行した歯周炎を有する人の割合は62.2%と高く、目標とする40%以下に達していません。

3. 実施主体

市町・支部・地区・学区公衛協

※事業の申請書・事業報告書の作成など、事務機能を有する公衛協であることを条件とします。

4. 活動場所

各公衛協の活動範囲

5. 実施期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

6. 活動内容

歯周病予防活動の普及に向け、学習会を開催し、受講者に実践を呼びかけ、実践状況を確認します。

(1) 学習会の開催

① 各種調整

・公衛協 日程調整、会場調整、受講者募集

※他地区に取組みを広めるため、役員は学習会の参加をお願いします。

※学習会の実施は水曜日または木曜日の午後とし、2つのコースのいずれかで実施します。

コース	内 容	定 員
Aコース	座学 60分+実技 30分(計 90分)	20人
Bコース	座学 60分	40人 (定員より多い場合はご相談ください。)

・環保協 歯科医師等の派遣、支援グッズの提供

② 申請書の提出

歯科医師等の派遣調整のため、開催希望日の **3ヶ月前まで** に申請書を提出してください。

③ 学習会の実施

・「学習会受講後ヒアリング調査(1回目)」(別紙様式②)の回収

・「実施報告書」(別紙様式③)の提出

(2) 受講者が実践する活動の呼びかけ

- ・学習会受講者は、自身の口腔内健康を維持・向上のため、歯の手入れなどを実践
- ・学習会受講者は、歯科健診を受診し、自身の口腔現状を確認
- ・学習会受講者は、「受診勧奨～みんなに広げるカード～」(別紙様式④)を活用して、家族や近隣住民に歯と口腔ケアの重要性を啓発し、歯科検診の受診勧奨を行う。

(3) 実践状況の確認

学習会実施約1カ月後に「学習会受講後ヒアリング調査(2回目)」(別紙様式⑤)を環保協から学習会受講者へ送付します。学習会受講者は期日までにアンケートに回答し、「受診勧奨～みんなに広げるカード～」(別紙様式④)とともに返送してください。

アンケート結果は環保協で取りまとめた後、実施公衛協へ報告します。

(4) 地域の拡充

口腔保健事業が地域に定着するように、近隣の役員にも学習会への参加を呼びかけ、他地区での事業実施を検討してください。

(5) ポスター等の掲示または回覧

広島県歯科医師会がPRするポスター等の掲示や、回覧のご協力をお願いします。

7. 支援グッズ

学習会で支援するグッズは、下記の7種類です。

No.	内 容 (ポイント)		
①	歯ブラシ	個包装	交換時期とヘッドの大きさの確認
②	フロス	個包装	使い方の学習・体験
③	歯間ブラシ	個包装	使い方の学習・体験
④	舌ブラシ	個包装	使い方の学習・体験
⑤	マウスウォッシュ(洗口液)	個包装	使い方の学習・体験
⑥	口腔ケア用ウェットティッシュ	個包装	使い方の学習・体験
⑦	液体はみがき (長期保存 ガム・デンタルリンス 250ml)		使い方の学習・体験 (Aコースのみ 1会場につき1~2本)

※提供数は学習会受講者数とします。

※⑦液体はみがきは、Aコース受講者の皆さんで使用します。

※支援グッズは、口腔ケア商品を斡旋するものではありません。

8. 申請方法

(1) 申請書

申請書(別紙様式①)に必要事項を記入のうえ、環保協地域活動支援センターへ提出してください。

(2) 申込期限

申請は、歯科医師等の派遣調整のため、開催希望日の 3カ月前までに行ってください。また、複数の候補日の設定をお願いします。

※Aコースを選択する場合は、調理室などの水道が使える場所を設定してください。

(3) 受講者の準備物

受講者は、筆記用具を持参してください。(Aコースを選択した場合は、現在使用されている歯ブラシ、コップ、タオル、鏡等も持参ください。)

9. 活動実績の報告

活動実績の報告は、報告書(別紙様式③)に必要事項を記入のうえ、当日受講者に記入頂いた「学習会受講後ヒアリング調査(1回目)」(別紙様式②)と併せて、学習会実施後1カ月以内に、環保協地域活動支援センターへ提出してください。

10. 経 費

支援するグッズおよび、歯科医師会への講師謝金は環境・健康募金の環保協配分金を充てます。その他の費用は公衛協で負担してください。

11. お楽しみ抽選について

「受診勧奨～みんなに広げるカード～」(別紙様式④)を抽選券として、提出して頂いた方の中から、会場ごとに抽選を実施し、当選者に景品をお送りします。

12. 持続可能な開発目標(SDGs)について

この事業は、持続可能な開発目標(SDGs)17の目標のうち、2つの目標達成に関わる取り組みです。

目標	詳細
	目標 3[保健] あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
	目標 4[教育] すべての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

※事業の説明動画はコチラをご覧ください→

かんほきょう YouTube 「公衛協事業 □腔保健事業(事業の説明)」



[問い合わせ/提出先](一財)広島県環境保健協会 地域活動支援センター 担当:松尾
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
TEL:082(293)1512 FAX:082(293)1524 E-Mail:youko.matsuo@kanhokyo.or.jp

様式①

令和3年度 全県共通事業重点メニュー
「歯と口腔から始める健康生活事業」申請書

年 月 日

(一財)広島県環境保健協会 地域活動支援センター長 様

【公衛協名】 _____

【会長名】 _____

【事務担当者】 _____

所 属 _____ 氏 名 _____

住 所 〒 _____

連絡先 () _____

「歯と口腔から始める健康生活事業」を次のとおり実施します。

コース いずれかに○	Aコース (座学 60分+実技 30分) Bコース (座学 60分)
実施場所	施設名: 住 所: 部屋名: 階 :第 室
水道設備 (Aコース選択の場合)	水道設備: 水道、洗面台等の数:
実施日時	第一希望: 年 月 日() : ~ : 第二希望: 年 月 日() : ~ :
参加予定人数	人
特記事項	

学習会受講後ヒアリング調査（1回目）

学習会にご参加頂き、ありがとうございました。

今後の学習会開催の参考とさせていただきますので、ヒアリング調査にご協力ください。

頂いた個人情報は、本調査以外で使用しません。

■受講者情報

性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
年齢	<input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上
推進委員歴	<input type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2～3年 <input type="checkbox"/> 4～5年 <input type="checkbox"/> 6～9年 <input type="checkbox"/> 10年以上
住所	〒
氏名	

■学習会について

学習会内容	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
興味深かった内容は	
より詳しく知りたいことは	
学習会時間	<input type="checkbox"/> 長い <input type="checkbox"/> やや長い <input type="checkbox"/> 丁度 <input type="checkbox"/> やや短い <input type="checkbox"/> 短い

■お口の健康について

お口の健康に関心がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> どちらともいえない
お口の健康が全身の健康に関係があることをご存知でしたか	<input type="checkbox"/> 知っていた <input type="checkbox"/> 知らなかった
お口の健康で気になることは何ですか（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 口臭 <input type="checkbox"/> 見た目 <input type="checkbox"/> 虫歯 <input type="checkbox"/> 痛み <input type="checkbox"/> 冷たいものや熱いものがしみる <input type="checkbox"/> しっかり噛めない <input type="checkbox"/> 歯をみがくと血が出る <input type="checkbox"/> 発音 <input type="checkbox"/> 歯ぐきの腫れ <input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> その他（ ）
かかりつけの歯科医はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
歯磨きのタイミングは（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 起きてすぐ <input type="checkbox"/> 朝食後 <input type="checkbox"/> 昼食後 <input type="checkbox"/> 夕食後 <input type="checkbox"/> 寝る前 <input type="checkbox"/> 歯をみがかない
定期的な歯科検診へ行っていますか	<input type="checkbox"/> 行っている <input type="checkbox"/> 行っていない <div style="text-align: center;">↓</div> 定期健診に行かれている方 <input type="checkbox"/> 毎月 <input type="checkbox"/> 年に数回 <input type="checkbox"/> 1年ごと <input type="checkbox"/> それ以上
歯の本数は	<input type="checkbox"/> 28本以上 <input type="checkbox"/> 20～27本 <input type="checkbox"/> 10～19本 <input type="checkbox"/> 1～9本 <input type="checkbox"/> 0本 <input type="checkbox"/> わからない
お手入れ方法は（複数回答可）	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ <input type="checkbox"/> 歯間ブラシ <input type="checkbox"/> フロス <input type="checkbox"/> 舌ブラシ <input type="checkbox"/> 液体歯磨き <input type="checkbox"/> その他（ ）

その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください

--

ご協力ありがとうございました。一般財団法人 広島県環境保健協会 地域活動支援センター

**令和3年度 全県共通事業重点メニュー
「歯と口腔から始める健康生活事業」実施報告書**

年 月 日

(一財)広島県環境保健協会 地域活動支援センター長 様

【公衛協名】_____

【会長名】_____

【事務担当者】

所 属 _____ 氏 名 _____

住 所 〒 _____

連絡先 () _____

「歯と口腔から始める健康生活事業」を次のとおり報告します。

コース いずれかに○	Aコース (座学 60分+実技 30分) Bコース (座学 60分)
実施日時	年 月 日() 時 ~ 時
参加人数	人
受講者の声	
当日困ったこと、 その対処方法など	❖困ったこと ❖その対処方法
実施してみても のふりかえり	❖よかったこと ❖改善点
その他 (事業に対する要望など)	

※開催案内チラシ、活動の様子が分かる写真を添付してください。

様式④

令和3年度 全県共通事業重点メニュー
歯と口腔から始める健康生活事業



受診勧奨 ～みんなに広げるカード～

※このカードは研修から約1カ月後に回収します。
 また、提出して頂いた方の中から、抽選で素敵な景品をお送りします。

●公衛協名		
●住所	ふりかな	●氏名

日付	おすすめした人	性別	年代	歯科受診の印象 (該当するものに○をつけて下さい)
	家族・町内の人・町外の人 ・その他	男・女		・すぐ行きそう ・近いうちに行きそう ・気が向いたら行きそう ・痛くならないとムリそう
(気づき)				

日付	おすすめした人	性別	年代	歯科受診の印象 (該当するものに○をつけて下さい)
	家族・町内の人・町外の人 ・その他	男・女		・すぐ行きそう ・近いうちに行きそう ・気が向いたら行きそう ・痛くならないとムリそう
(気づき)				

日付	おすすめした人	性別	年代	歯科受診の印象 (該当するものに○をつけて下さい)
	家族・町内の人・町外の人 ・その他	男・女		・すぐ行きそう ・近いうちに行きそう ・気が向いたら行きそう ・痛くならないとムリそう
(気づき)				

歯周病は、認知症、脳梗塞、動脈硬化、心筋梗塞、肺炎、糖尿病、関節リウマチなど、様々な病気の要因となっています。
 歯周病予防には、歯科医院で専門家による定期的なケアが重要です。
 地域で広めて健康づくりに取り組みましょう。

[問い合わせ] (一財) 広島県環境保健協会 地域活動支援センター
 〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 TEL: 082-293-1512



様式⑤

学習会受講後ヒアリング調査（2回目）

先日は口腔保健学習会にご参加頂き、ありがとうございました。

その後、お口の健康はいかがでしたか。

今後の研修開催の参考とさせていただきますので、ヒアリング調査にご協力ください。

受講後、 歯磨きの方法は 変わりましたか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> カの入れ方がやさしく磨くようになった <input type="checkbox"/> ブラシの当て方に気をつけるようになった <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 変化なし
受講の前後で、 利用グッズは 変わりましたか？ (複数回答可)	【受講前】 <input type="checkbox"/> 歯間ブラシ <input type="checkbox"/> フロス <input type="checkbox"/> 舌ブラシ <input type="checkbox"/> 液体はみがき <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 利用なし
	【受講後】 <input type="checkbox"/> 歯間ブラシ <input type="checkbox"/> フロス <input type="checkbox"/> 舌ブラシ <input type="checkbox"/> 液体はみがき <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 利用なし
受講の前後で、 歯磨きの回数は 変わりましたか？	【受講前】 <input type="checkbox"/> 1日1回 <input type="checkbox"/> 1日2回 <input type="checkbox"/> 1日3回 <input type="checkbox"/> 磨かない <input type="checkbox"/> その他 ()
	【受講後】 <input type="checkbox"/> 1日1回 <input type="checkbox"/> 1日2回 <input type="checkbox"/> 1日3回 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 変化なし
受講後、 誤嚥性肺炎予防ケアの 意識が変わりましたか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 夕食後や寝る前の歯磨きを重視 <input type="checkbox"/> お口の体操 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 変化なし
受講後、 学習内容を誰かに 話されましたか？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> 町内の人 <input type="checkbox"/> 知り合い(町内の人を除く) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 話しをしていない
受講後、 歯科に行きましたか？	<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行く予定 <input type="checkbox"/> 行かない <input type="checkbox"/> 未定
学習会を受けて よかったことは？ (複数回答可)	<input type="checkbox"/> 知識が増えた <input type="checkbox"/> グッズが試せた <input type="checkbox"/> 歯科へ行くきっかけになった <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> ない

その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、 月 日()までに、返送をお願いします。

【問い合わせ/提出先】 (一財) 広島県環境保健協会 地域活動支援センター 担当: 松尾
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 TEL: 082 (293) 1512 FAX: 082 (293) 1524

令和3年度 公衆衛生推進協議会「基礎研修」講師派遣事業

基礎研修は、公衆衛生推進委員の任務や活動の進め方、環境・健康募金、各市町公衛協で掲げた事業などの理解を目的に、公衛協が主催する研修です。本来の対象者は新任の推進委員ですが、総会で実施することも多く、実施方法は公衛協によって様々です。

環保協は、公衛協の要請に応じて講師を派遣するほか、基礎研修DVD等教材も提供しています。公衛協の状況に合わせて、講師派遣や教材貸出制度をご活用いただき、基礎研修を開催してください。

代表者会議・第1回専門部会(組織)で基礎研修の開催状況を報告するため、7月～8月に開催状況を教えてください。その際は、支部・地区・学区での開催状況も含め、日時、場所、参加者数などの情報をご提供ください。

1. 概要

公衛協の理解・組織力強化をねらいに、公衛協主催の基礎研修に講師派遣や教材提供を行います。

2. 時期

原則、令和3年4月から8月までとします。(各市町公衛協レベルで1回は実施)

3. 対象

市町公衛協及び支部・地区・学区公衛協

*対象者は、公衆衛生推進委員及び事務担当者、その他必要と認められる者。

4. 研修内容

■地区衛生組織活動概論(「2021 公衆衛生推進手帖」または「手引き」,「基礎研修DVD」を使用)

■公衛協の事業活動に沿った学習 など

5. 申込方法

別紙申込書に必要事項を記入の上、原則として実施日の1週間前までに、環保協地域活動支援センターに提出してください。

6. 経費

派遣する講師及び講師が使用する資料に係る経費は環保協が負担し、その他の経費は公衛協の負担とします。

7. 留意事項

申込書の提出は、日程を事前に調整した上で、次の点に留意して行ってください。

- (1) 所用時間は、原則 1時間程度とします
- (2) 「2021 公衆衛生推進手帖」または「手引き」,「基礎研修DVD」を使用します
- (3) 対象者の7割以上が参加できるように呼びかけてください

【問い合わせ/提出先】

(一財) 広島県環境保健協会 地域活動支援センター 担当: 清水
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
TEL:082(293)1512 FAX:082(293)1524

整理番号	No.
------	-----

公衆衛生推進協議会「基礎研修」講師派遣申込書

年 月 日

(一財) 広島県環境保健協会 地域活動支援センター長 様

【公衛協名】 _____

【会 長 名】 _____ 印

【事務局担当者】

所 属 _____ 氏 名 _____

連絡先 () _____

基礎研修を次のとおり実施するので、講師の派遣をお願いします。

実施日	年 月 日 ()	《注1》
時 間	時 分 ~ 時 分	《注2》
会 場	名 称 :	
	住 所 :	連絡先 : ()
対 象 者		
参加予定人数	約 人	市町の推進委員数 人
内 容 《注3》	研修会名 _____	
	* 基礎研修を行う研修会・会議の名称を記入して下さい。 例) ○○公衛協総会、○○公衆衛生推進協議会基礎研修 など	
	要望事項 (特に話して欲しい内容、パワーポイントの要・不要など)	

《注1》日程については、事前にご相談下さい。
《注2》所要時間は、原則として1時間程度とします。
《注3》当日は、「公衆衛生推進手帖」または「手引き」をご準備ください。不足の場合はご連絡ください。

令和3年度 合同研修 市町を越えての体験交流 助成金交付

1. 主 旨

複数の市町公衛協が他の公衛協と合同研修を開催し、相互の活動について体験交流を行う際広島県環境保健協会から開催経費を助成することにより、地域交流の促進の一助となることを目的として、実施します。

2. 助成対象となる研修

主 体	<p>2 団体以上の公衆衛生推進協議会で、次に該当すること。</p> <p>○市・町公衆衛生推進協議会 ○ブロック・支部・地区単位の公衆衛生推進協議会</p> <p><注意事項> *窓口を担当する公衛協を決め、申請・報告等の事務手続きを行ってください。 *双方の担当で実施費用を勘案し、助成金の分配額を決定します。 *実施日に関わらず、申請順に年間6件を目安とします。 *窓口としての申請・報告は1公衛協につき1回のみ可とします。</p>
研修の対象者	概ね各団体から8名以上、併せて20名以上の参加があること（厳守）
研修の内容	<p>活動に関心のある公衛協や、先進的な取り組みを行う公衛協へ持ち掛けて実施を決定してください。研修の内容、日程などについては、主催する公衛協間の協議によって決定してください。</p> <p><研修内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互の活動紹介 ・意見交換 ・活動の体験実習 など
助成額	<p>一申請につき最大 50,000 円（千円未満は切捨て）</p> <p>*事業申請に合わせて予算見積もりを添付してください （双方で費用を算出し、見積もりを作成してください）</p> <p>*報告書により指定された口座へ1カ月以内に振り込みます。</p>
助成対象となる経費項目	<p>○交通費（高速道路利用代、バス借り上げ代、ガソリン代など） ○教材費 ○印刷製本費（配布資料など） ○賃借料（研修会場借り上げ代、物品借り上げ代など） ○保険料（研修内容に応じて、イベント保険などに入る場合） ○消耗品の購入（研修に必要な備品、消耗品等の購入） ○雑費 ほか</p>
助成対象にならない経費項目	<p>×飲食費（弁当代、食事代など飲食に関わるもの） ×旅費・謝礼金（日当、謝礼、車代など人に直接支払われるもの） ×そのほか、助成するにあたり不適とみなされるもの</p>

3. 申請方法

別紙申請書（様式①）に必要事項を記入のうえ、広島県環境保健協会地域活動支援センターへ申請書を提出してください。

4. 助成の決定

審査の結果、助成が確定した公衛協へ決定通知を送付します。

5. 実施報告

別紙実績報告書（様式②-1）および助成金交付請求書（様式②-2）に必要事項を記入し、広島県環境保健協会地域活動支援センターへ提出してください。

助成金を複数か所に分けて振り込む場合は、振込先毎に請求書を提出してください。

報告および請求は、事業終了後すみやかに行ってください。

6. 申込締め切り

令和4年2月28日（月）必着

7. 備 考

この助成は、環境・健康募金環保協配分金の一部を充てて実施します。

【問い合わせ先】

一般財団法人広島県環境保健協会 地域活動支援センター地域支援課 担当：原・松尾

TEL：082-293-1512 FAX：082-293-1524

メール：tatsuya.hara@kanhokyo.or.jp あるいは youko.matsuo@kanhokyo.or.jp

整理番号	No.
------	-----

<p>令和3年度 合同研修 市町を越えての体験交流 助成申請書</p>
--

年 月 日

一般財団法人広島県環境保健協会 御中

【公衛協名】 _____

【会 長 名】 _____ 印

【事務局担当者】

所 属 _____ 氏 名 _____

連絡先 () _____

_____ 公衛協との合同研修を次のとおり実施しますので、助成申請をいたします。

実施日	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分												
会 場	名 称 : _____ 住 所 : _____												
対象公衛協	[_____] [_____] [_____]												
参加予定人数 ※各団体から概ね 8人以上	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;"><u><受け入れ側></u></td> <td style="width: 20%;">公衛協</td> <td style="width: 20%;">およそ</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td><u><訪 問 側></u></td> <td>公衛協</td> <td>およそ</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">人</td> </tr> </table>	<u><受け入れ側></u>	公衛協	およそ	人	<u><訪 問 側></u>	公衛協	およそ	人			計	人
<u><受け入れ側></u>	公衛協	およそ	人										
<u><訪 問 側></u>	公衛協	およそ	人										
		計	人										
内 容													

※プログラムや行程表を作成している場合は、別途添付してください。

様式②-1

体験交流研修（合同研修）実績報告書

年 月 日

一般財団法人広島県環境保健協会 御中

【公衛協名】 _____

【会長名】 _____ 印

【事務局担当者】

所 属 _____ 氏 名 _____

連絡先 () _____

開催日時：

開催場所：

対象公衛協（2団体以上）：

参加人数： 名

内 訳： 公衛協 名
公衛協 名

主な目的：

主な研修の内容（作成したレジュメ、進行表などあれば添付）：

参加者の声：

実際にかかった経費(総額)： 円
 (受入側： 円、訪問側： 円)

内 訳：

(受入側団体名：)

項 目	金 額	備 考
合 計		

(訪問側団体名：)

項 目	金 額	備 考
合 計		

交流事業の様子（写真）：添付する、または写真データを（chiiki-c@kanhokyo.or.jp）までお送りください。

様式②-2

年 月 日

一般財団法人広島県環境保健協会
理事長 佐藤 均

団体名:

代表者氏名:

印

助成金交付請求書

令和3年度体験交流研修会（合同研修）の助成金として、下記のとおり請求いたします。

記

金 円 一

*最大 50,000 円 千円単位で切捨て

【申請時と請求金額が異なる場合、その事由】

<振込先>

金融機関名:

支店名:

口座番号:

口座名義:

環境と健康のポスター・標語コンクール事業

1. 主 旨

広島県環境保健協会は、公衆衛生推進協議会が展開している学社融合的な取り組みを促進し、環境への負荷が少ない持続的発展が可能な社会環境づくりと健康づくりに貢献します。

また、世界に目を向けると2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標がSDGs（持続可能な開発目標）として国連で採択されています。本事業は、17の目標のうち8つの目標達成に向けて、取り組んでいるので、これらを知って、理解して、いずれかに関係した作品を考えてください。



2. 主 催

一般財団法人広島県環境保健協会

3. 共 催

広島県、広島県教育委員会、

一般財団法人広島県環境保全公社、公益社団法人瀬戸内海環境保全協会

4. 後 援

一般社団法人広島県医師会、一般社団法人広島県歯科医師会

公益社団法人広島県薬剤師会、公益社団法人広島県看護協会

5. 事業概要

公衆衛生推進協議会が学校等を通じて、地域の小・中学生より「ポスター」「標語」を募集し、第1次選考を行い、そこで選出した作品を主催者へ推薦します。主催者で第2次選考を行い、全県での入選作品を決定します。

受賞作品は、公衆衛生推進委員が一同に会する場として毎年開催する広島県公衆衛生大会の席上にて表彰いたします。さらに、環境や健康・福祉に関するイベント等で展示するとともに環境保全・健康増進のための各種普及啓発資料等に使用いたします。

また、応募作品は、表彰のみならず、それぞれの市町においても地域（町民・市民）の方に広報する活動に役立てていただきます。

6. 募集分野と作品のテーマ

各公衆衛生推進協議会は、作品を募集する分野（作品テーマ）を選択し、作品を募集します。環境分野のみの参加、健康分野のみの参加、環境・健康両分野の参加が可能です。

環境分野：守ろう美しい地球

SDGsの7項目に関連して、連想されるキーワードとイメージの例は次のとおり。

目標		キーワード・イメージ
	安全な水と衛生的な環境を管理する。 すべての人が安全な水と衛生的な環境を使えるようにする。	・安全な水 ・河川清掃 ・山・川・森などを含む水に関連する生態系の保護
	すべての人が手ごろな価格で安定的な発電による持続可能で近代的なエネルギーを使える。	・再生可能な自然エネルギー ・限りある化石エネルギー
	安全で、災害に強いまちや人々の住む場所をつくる。 災害などがあっても早く回復できる、持続可能なまちづくり。	・ヒートアイランド
	持続可能な方法で生産し、責任を持って消費する。	・食品ロス（廃棄） ・3R（リデュース、リユース、リサイクル）
	気候変動やその影響を減らすために、急いで行動する。	・地球温暖化 ・自然災害 ・異常気象 ・省エネ活動
	持続可能な開発のために、海や海の資源を守る。 海や海の資源を持続可能な方法で利用する。	・プラスチックのゴミ捨て場？ ・川にごみを捨てないで ・海はすべての生命のみなもと
	陸の生態系を守り、再生する。 陸の生態系を持続可能な方法で利用する。 森林を管理して砂漠化を防ぐ。 土地が悪くなることを止めて、再生する。 たくさんの種類の生物が繋がって生きられる多様性を守る。	・生物多様性をはぐくむ自然 ・絶滅の危機にある生物たち ・失われていく森

健康分野：がんばろう健康生活

【健康分野のテーマのイメージ】（例）

（食生活）

- ・好き嫌いをなく食べる
- ・甘いもの、辛いもの、味の濃いものを食べ過ぎない
- ・1日3食きちんと食べる

（歯の衛生）

- ・手洗い、うがいをきちんと、食べた後歯みがき

（規則正しい生活）

- ・早寝、早起き

（運動、外遊び）

- ・外で元気よく遊ぶ、定期的な運動

（受動喫煙防止）

- ・たばこの害、たばこのけむり

（検診・健康診断）

- ・健康診断、がん検診の受診

（薬の正しい知識）

- ・正しい使い方での飲む、おくすり手帳の活用



など

7. 募集対象・募集主体・募集方法・募集期間

- 募集対象：広島県内にある小学校及び中学校の児童・生徒
参加学校には「学校奨励賞（図書カード）」を贈呈
- 募集主体：26 公衛協（支部・地区・学区では申請できませんのでご了承ください。）
- 募集方法：各公衛協で作品を募集する分野・部門を決定し、募集方法を定めてください。また、事業PR用のチラシ※、前年度の入選作品を掲載した情報紙（号外）がありますので、学校等への説明にご活用ください。
※チラシの表面に、貴会で設定した「作品提出期限」「提出先」を記入して使用してください。
- 募集期間：各公衛協から主催者への推薦締め切り日(9月17日(金)必着)を考慮してください。

8. 作品の規格等

ポスター	標語
<ul style="list-style-type: none"> ・原則、主催者が用意した「八つ切り」(270 mm×381 mm) サイズの画用紙を使用すること。 ・画材は、絵の具やクレヨン、サインペンなど自由。ただし、パソコンを使用した作品は選考の対象外とします。 ・画用紙の裏面に必要事項（市町名・学校名・学年・氏名・ふりがな）を記入すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町公衆衛生推進協議会の定めた様式によります。 ・作品には、市町名・学校名・学年・氏名（ふりがな）を明記のこと。

9. 部門・賞

ポスター・標語の各分野・各区分で、「最優秀賞」、「特別賞」、「優秀賞」、「奨励賞」の作品を決定します。

各区分の詳細は、次のとおり。

分野	部門	区分 (学年)
環境分野	ポスター	ポスター・標語の各部門に対して、次の各区分にそれぞれ受賞者を選定します。
	標語	
健康分野	ポスター	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年（1～3年生）の部 ・小学校高学年（4～6年生）の部 ・中学校の部
	標語	

環境分野の最優秀賞は、広島県知事賞を贈呈します。特別賞は、広島県教育委員会賞、（一財）広島県環境保全公社理事長賞、（公社）瀬戸内海環境保全協会会長賞、（一財）広島県環境保健協会理事長賞を贈呈いたします。

健康分野の最優秀賞は、（一財）広島県環境保健協会理事長賞を贈呈します。特別賞は、（一社）広島県医師会会長賞、（一社）広島県歯科医師会会長賞、（公社）広島県薬剤師会会長賞、（公社）広島県看護協会会長賞を贈呈いたします。

なお、本事業へ参加した全て学校に対し、副賞として学校奨励賞（図書カード）を贈ります。

10. 事業の流れ

- 主催者へ「事業実施申請書（様式①）」を提出 **5月28日（金）必着**
↓
- ポスター用画用紙の送付（該当団体のみ） 6月下旬
↓
- ポスター・標語の募集および第1次選考（各市町公衛協）
↓
- 主催者へ推薦作品と「第2次選考推薦書および経費助成申請書（様式②）」を提出
9月17日（金）必着
↓
- 第2次選考（広島県環境保健協会 選考委員会） 10月上旬
↓
- 第2次選考結果および助成額決定・通知、該当団体へ助成金振込み 10月下旬
↓
- 表彰式（第62回広島県公衆衛生大会席上）日時：11月
開催場所：未定 開催日時は後日案内します。
↓
- 「活動報告書（様式③）」「経費精算書（様式④※）」を添付して提出
令和4年2月10日（木）必着
未利用の助成金は、精算金額が確定（3月上旬）した後、返金していただきます。

11. 選考の方法・視点

第1次選考（主催：市町公衛協）

選考方法、選考の基準は、それぞれの公衛協で定めてください。

なお、選考では、地元の教育委員会や学校関係者の協力を得るなどして、よりよい選考に努めてください。

第2次選考（主催：主催者）

①選考

第2次選考は、専門家等により構成する主催者が設置する「選考委員会」で行います。

②選考の視点

【共通事項】

- テーマに沿った内容であるか
- 未発表のオリジナル作品であるか
- 小学生または中学生らしい独自の発想があるか
- 言葉・漢字・かなの使い方は適切か
- 誤字脱字はないか（例：マイバック（誤）→マイバグ（正））
- 表現は正しいか（例：コンセントを抜く（誤）→プラグを抜く（正））
- 問題意識の喚起や啓発につながる内容となっているか
- 地球や日本、私たちの住む地域への愛着が感じられるか

【ポスター部門】

- 絵やキャッチコピーから伝えたいことがはっきりわかるか
- ポスターとして美しいものか

【標語部門】

- 標語の「ことば」から伝えたいことがはっきりわかるか
- リズムがよく、行動に移せると思える言葉になっているか

12.表彰

入選された方には、「賞状」「トロフィー」「副賞（図書カード）」を贈呈します。

また、11月に開催する「第62回広島県公衆衛生大会」席上にて表彰式を行い、最優秀賞及び特別賞の受賞者と開催地周辺地域から受賞者をお招きします。

13.参加方法

【事業の実施に当たって】

本事業に参加される団体は、5月28日(金)までに「申請書(様式①)」をご提出ください。

【第2次選考への作品の提出方法】

- ①「第2次選考推薦書および経費助成申請書(様式②)」を添付の上9月17日(金)までにご提出ください。また、学校名、学年、氏名、ふりがなを一覧にして、電子データ(HPにて様式を提供)にてご提出ください。また、標語を提出される場合は、上記一覧に推薦作品を入力してご提出ください。

様式ダウンロード先 (http://www.kanhokyo.or.jp/?page_id=68)
HOME→各種書類・申請書ダウンロード→公衛協活動各種申請書

- ②市町公衛協会長は、応募作品の中から全体で、ポスター13点以内、標語13点以内を環保協理事長宛に推薦してください。

ポスターまたは標語の応募作品数が500点を超えた場合は、1点を追加し、以後100点につき1点を追加して推薦することができます。

- (例) 応募作品数 1~500点・・・13点
 応募作品数 501~600点・・・14点
 応募作品数 601~700点・・・15点

- ③応募のあったポスター・標語の分野から1点以上の作品を推薦することを原則とします。公衛協が定めた方法で、前項②で算出した推薦作品数を限度に推薦してください。

※推薦作品数が不明の場合は、事務局にお問い合わせください。

14.コンクール事業を活性化するための経費助成

本コンクール事業を活性化するための経費を助成します。

より多くの参加を促すための経費として、基本助成額2万円および上乗せ助成額を助成します。助成を申請する場合は、「第2次選考推薦書および経費助成申請書(様式②)」をご提出ください。

※上乗せ助成額は、参加学校数、応募作品数に応じて算定します。

※コンクール事業で使用した経費内訳について「経費精算書(様式④)」で報告してください。未利用の助成金については、返金していただきます。

助成額の目安	<p>予算額－基本額原資（基本助成額×参加団体数）＝上乗せ原資 上乗せ原資を参加学校数、応募作品数で二等分し、上乗せ助成額①、②を算定 基本助成額 20,000 円＋上乗せ助成額①＋上乗せ助成額②</p> <p>上乗せ助成額①（参加学校数による配分） ＝（（予算額－基本助成額×参加団体数）÷2）×（参加学校数／全参加学校数）</p> <p>上乗せ助成額②（応募作品数による配分） ＝（（予算額－基本助成額×参加団体数）÷2）×（応募作品数／全応募作品数）</p> <p>※波線は上乗せ原資をあらわす。</p>		
	助成対象経費	<p>諸謝金（外部選考委員への謝金等）</p> <p>通信運搬費（書類、広報物の送付費等）</p> <p>賃借料（会場・設備使用料等）</p> <p>印刷製本費（広報物の印刷費等）</p>	<p>旅費交通費（旅費交通費）</p> <p>消耗品費（文具・資材・副賞等）</p> <p>会議費（お茶・弁当代等）</p> <p>雑費（助成事業に関する振込手数料等）</p>
<p>※表彰状、副賞を授与するのみの活動には経費の助成は行いません。</p> <p>※「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」で同事業を実施している場合は、本助成の申請はできません。</p> <p>※作品を利用したグッズや広報物を作成される場合は、<u>公衆衛生推進協議会名とともに、一般財団法人広島県環境保健協会「令和3年度環境と健康のポスター・標語コンクール事業による作成物である」</u>ことを記載してください。</p> <p>※グッズや広報物のサンプル（10点程度）をご提供ください。なお、作成するグッズ等が高額でサンプル提供が困難な場合や大型の場合は、写真データの提供をお願いします。</p>			

募集活動、事後フォロー活動実施後は、別に定める「活動報告書（様式③）」および「経費精算書（様式④）」を作成の上、**令和4年2月10日（木）必着**で提出してください。 ※未利用の助成金については返金していただきます。

15. その他

- 入選作品の返却はできませんので、あらかじめご了承ください。ただし、ポスター入選作品については、複製（カラーコピー）を返却させていただきます。
- 入選作品の著作権は、主催者に帰属するものとし、主催者で管理を行いますが、各市町公衛協で使用される上での制限はありません。本事業の入選作品（あるいは市町公衛協の入選作品）としての紹介をした上で、有効にご活用ください。
- 入選作品および受賞者氏名等は、主催者のホームページおよび情報紙等で一般に公開されますことを予めご承知ください。
- 誤字脱字、英語のつづり間違い等があった場合、選外とします。
(1次選考で確認をお願いします。)
- 応募は未発表のオリジナル作品に限ります。他で受賞した作品の模倣が認められる作品は、入賞決定後であっても賞を取り消す場合があります。
- 第1次選考会、表彰式、展示会など、主な活動については写真撮影をお願いします。写真は画像データで提供願います。(写真は、Word, Excelに貼り付けないでください。)
- 広島県環境政策課から各市町教育委員会に、事業実施案内が送付されます。問い合わせ先が各公衛協となっておりますので、対応をお願いします。

【問い合わせ／提出先】

一般財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 地域活動支援センター 担当：清水

TEL：082(293)1512 FAX：082(293)1524

**令和3年度「環境と健康のポスター・標語コンクール」
申 請 書**

令和3年 月 日

一般財団法人 広島県環境保健協会理事長 様

【公衛協名】 _____ (印)

【代表者名】 _____

【事務担当者】 _____

所 属 _____ 氏 名 _____

住 所 〒 _____

連絡先 _____ () _____

「環境と健康のポスター・標語コンクール」について、次のとおり実施いたします。

1. 実施内容 (いずれかに○をしてください)

	環境分野 「守ろう美しい地球」	健康分野 「がんばろう健康生活」
ポスター	実施する ・ 実施しない	実施する ・ 実施しない
標 語	実施する ・ 実施しない	実施する ・ 実施しない

2. ポスター用画用紙・PRチラシ・情報紙「環境と健康」号外の必要枚数

ポスター用画用紙	枚
PRチラシ【サイズA3】	枚
情報紙「環境と健康」号外 【令和2年度版】	枚

3. 経費助成申請予定の有無 (いずれかに○をしてください)

有	無
入選（応募）作品の 活用方法	

4. 実施計画書

(1) 作品の募集

対 象	小学校	校	
	中学校	校	
募集計画	月 日	内容（方法）	場所（相手）
募集期間	年 月 日（ ） ～ 年 月 日（ ）		
募集窓口 （作品の提出先）			

(2) その他

特記事項	
------	--

令和3年度「環境と健康のポスター・標語コンクール」
第2次選考推薦書および経費助成申請書

令和3年 月 日

一般財団法人 広島県環境保健協会理事長 様

【公衛協名】 _____ ⑩

【代表者名】 _____

【事務担当者】 _____

所 属 _____ 氏 名 _____

住 所 〒 _____

連絡先 () _____

1. 「環境と健康ポスター・標語コンクール」2次選考に下記のとおり推薦します。

【ポスター】

○環境分野	小学校低学年の部 _____ 点	環境分野	合計	点
	小学校高学年の部 _____ 点			
	中 学 校 の 部 _____ 点			
○健康分野	小学校低学年の部 _____ 点	健康分野	合計	点
	小学校高学年の部 _____ 点			
	中 学 校 の 部 _____ 点			

【標 語】

○環境分野	小学校低学年の部 _____ 点	環境分野	合計	点
	小学校高学年の部 _____ 点			
	中 学 校 の 部 _____ 点			
○健康分野	小学校低学年の部 _____ 点	健康分野	合計	点
	小学校高学年の部 _____ 点			
	中 学 校 の 部 _____ 点			

※作品とあわせて作品リスト(学校名、学年、氏名、ふりがな等)を一覧にして、電子データにてご提出下さい。当協会HP(公衛協活動各種申請書)から様式もダウンロードできます。

2. 応募作品数及び参加学校数

分野・部門		小学校 応募作品数	参加 学校数	中学校 応募作品数	参加 学校数
ポ ス タ ー	環境分野	1年生 () 点	() 校	1年生 () 点	() 校
		2年生 () 点		2年生 () 点	
		3年生 () 点		3年生 () 点	
		4年生 () 点			
		5年生 () 点			
		6年生 () 点			
	合計 () 点	合計 () 点			
	健康分野	1年生 () 点	() 校	1年生 () 点	() 校
		2年生 () 点		2年生 () 点	
3年生 () 点		3年生 () 点			
4年生 () 点					
5年生 () 点					
6年生 () 点					
合計 () 点	合計 () 点				
ポスター 参加学校数	小学校の数	() 校	中学校の数	() 校	
標 語	環境分野	1年生 () 点	() 校	1年生 () 点	() 校
		2年生 () 点		2年生 () 点	
		3年生 () 点		3年生 () 点	
		4年生 () 点			
		5年生 () 点			
		6年生 () 点			
	合計 () 点	合計 () 点			
	健康分野	1年生 () 点	() 校	1年生 () 点	() 校
		2年生 () 点		2年生 () 点	
3年生 () 点		3年生 () 点			
4年生 () 点					
5年生 () 点					
6年生 () 点					
合計 () 点	合計 () 点				
標語 参加学校数	小学校の数	() 校	中学校の数	() 校	
参加学校数	小学校の数 (重複しない学校数)	() 校	中学校の数 (重複しない学校数)	() 校	

※中高一貫校、義務教育学校の場合は、相当する学年に記入してください。

3. 参加学校別応募作品数

	学校名	ポスター 応募点数	標語 応募点数	合計
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

4. 活動助成金の申請（いずれかに○をしてください）

申請する	申請しない
------	-------

※「申請する」の場合は、4もご記入ください。

5. 振込先

金融機関名	
支店名	
□座番号	（ 普通 ・ 当座 ）
ふりがな □座名	

※助成額は、参加学校数および応募作品数が確定した後にお知らせします。

令和3年度「環境と健康のポスター・標語コンクール」事業
活動報告書

令和3年 月 日

一般財団法人 広島県環境保健協会理事長 様

【公衛協名】 _____

【代表者名】 _____ 印

【事務担当者】

所 属 _____ 氏 名 _____

住 所 〒 _____

連絡先 _____ (_____) _____

「環境と健康のポスター・標語コンクール」事業について、活動報告を提出いたします。

1. 作品募集活動実績

実施期間		
訪問先等		
活動年月日	実施場所	内容

2. 1次選考活動実績

1次選考会の様子や課題・解決策などをご記入ください。

また、1次選考会の様子を撮影した写真のデータをご提供ください。

実施年月日		
選考会開催場所		
選考委員 (所属・役職など)		
選考方法	ポスター	(例) 全作品を並べて、審査用紙に記入する。
	標語	(例) 作品を読み上げて、審査用紙に記入する。
選考の際に 工夫・配慮した点		
今後の課題		
選考委員の感想		

3. 事後フォロー活動実績

作品を利用して作成したグッズ・広報物、表彰式や展示会など、事後フォロー活動の様子や課題などをご記入ください。

また、表彰式や展示会の様子、グッズ等を撮影した写真のデータをご提供ください。

事業名				
活動の概要	実施した活動		内 容	
	表 彰	有 ・ 無		
	作品利用	有 ・ 無		
	展 示	有 ・ 無		
	報 償	有 ・ 無		
	広 報	有 ・ 無		
	参 加 賞	有 ・ 無		
	その他			
協働団体				
活動実績	年 月 日	実施場所	内 容	参加人数
活動の成果	*この活動を通じて得た成果			
	*参加者またはスタッフの声			
今後の課題	*この活動の課題または反省点			

(添付資料) 助成金に計上した領収書の写し

令和3年度地域活動支援基金活用事業
環境と健康のコミュニティ活動助成事業
 (2次募集)

1. 主 旨

公衆衛生推進協議会が展開するコミュニティ活動への助成を通じて、健康づくりと住み良い環境づくりを促進し、公衛協の活性化を図るとともに、地域社会の発展に貢献します。

2. 対 象

市町公衛協及び支部・地区・学区公衛協（ただし、事務局機能を有していること）
 ＊他団体との協働実施は可能、申請団体は公衛協です。

3. 助成額

上限 10 万円

4. 助成対象事業

公衛協事業を活性化する環境づくり・健康づくりに係る活動費の一部を助成します。
 ・新規事業（新しく取り組む）を優先的に採択します。
 ・継続事業（初めて助成を申請した事業ではなく、公衛協が継続して取り組んでいる事業）は、地域の課題解決に向けた工夫や改善がみられる事業が対象となります。

区分	テーマ	例
環境	花いっぱい運動	住民が主体となって、季節の花の花壇づくりやプランターの設置などの活動 SDG s の目標   
	ごみ減量運動	リサイクルを促進するため、雑紙・牛乳パック・ペットボトル分別回収、生ごみの堆肥化など、ごみの減量に繋がる活動 SDG s の目標      
	その他	上記以外の公衛協活動に資するもの
健康	運動教室	住民が日常的に運動する習慣に繋がる活動。フィットネス・ウォーキング・体操・ストレッチ等 SDG s の目標   
	健康学習会	食育・食改善、口腔保健、がん検診受診勧奨など健康づくりに繋がる学習会 SDG s の目標   
	その他	上記以外の公衛協活動に資するもの

区分	テーマ	例
脱温暖化	学習会	市町・地区・支部で、脱温暖化に関する住民向けの学習会 SDGsの目標 
	啓発活動	家電の買い替え活動、クールシェア・ウォームシェアの促進、冷蔵庫調査などの活動 SDGsの目標 
	その他	上記以外の公衛協活動に資するもの
防災・減災	共助井戸調査等	災害時に地域で活用できる井戸の調査・井戸水質検査・登録の仕組みづくり、避難時の危険個所の調査マップづくりなどの活動 SDGsの目標 
	防災・減災学習会	災害が発生したときはどのように行動するか、備えなどの学習会、防災さんぽなど SDGsの目標 
	感染症対策	外部から有識者を呼んで行う地域学習会、有識者へ記事の寄稿を依頼して公衛協たよりなどの広報へ掲載して周知を図る、避難所や家庭で感染者やクラスターなどが発生したことを想定した消毒訓練など SDGsの目標 
	その他	上記以外の公衛協活動に資するもの

* 12月に開催する専門研修「企画づくりコース」をご活用ください。

* 令和2年度実施要領から変更した部分は赤字です。

5. 助成対象経費

諸謝金・・・講師謝金 旅費交通費・・・講師旅費
 消耗品費・・・文具・資材など 印刷製本費・・・チラシ・冊子などの印刷製本費
 賃借料・・・会場使用料など 通信運搬費・・・郵便代など
 雑役務費・・・保険代など その他諸経費・・・基金運用委員会で必要と認めたもの
 ※飲食に関する経費、推進委員等スタッフに対する賃金・謝金、委託料（他団体への事業委託料）は対象外とします。

6. 活動の実施期間

令和3年4月1日（水）から令和3年12月31日（金）までとします。

7. 申請方法

様式①により、**令和3年5月21日（金）必着**で、環保協地域活動支援センターへ提出してください。

8. 審査の方法

(1) 審査方針

- ①初めて（新たに）取り組まれる活動を優先的に採択します。
- ②継続している事業で、本助成金に初めて申請する事業は、継続事業として申請してください。ただし、事業内容に変更や工夫を必要とし、同一の事業の申請は、3年を限度とします。
- ③審査のポイントに該当しない場合は、定めた採択数に関わらず不採択とします。

(2) 審査のポイント

- 事業の目的や目標が明確である
- 公衛協の知名度向上につながる
- 事業計画に無理がなく、事業が目標達成に向けて具体的・現実的な内容となっている
- 公衛協の事業として実施し、地域住民・事業者や学校と連携して行っている
- 公衛協が実施、協働する環境・健康のコミュニティづくりのきっかけまたは活性化につながる活動である
- 従来にはない視点や手法を活用したり、魅力や優位性を創出・発信したりしている
- 次年度以降の展開が考えられている
- 経費の使途は妥当である
- この事業に係る自主財源がある
- これまで、『環境と健康のコミュニティ活動助成事業』から同様の事業の助成を受けていない

9. 助成金の決定・交付

6月に開催予定の基金運用委員会で審査した後、結果を文書にて通知します。

採択された公衛協は、同封の「助成金交付申請書」に必要事項を記入の上、環保協地域活動支援センターに提出してください。申請書受領後、30日程度で指定の口座に振り込みます。

10. 事業の流れ

- 申請書（様式①）提出 **令和3年5月21日（金）必着**
- ↓
- 事業の審査（広島県環境保健協会 基金運用委員会） 6月上旬
- ↓
- 審査結果の送付（環保協から公衛協へ） 6月中旬
- ↓
- 助成金交付申請書（様式②）の送付（採択された公衛協から環保協へ）
- ↓
- 助成金交付 申請書受領後、30日程度で指定口座に入金
- ↓
- 事業の実施（採択された公衛協） 活動期限 令和3年12月31日（金）まで
- ↓
- 活動報告書（様式③）の提出 **令和4年1月28日（金）必着**

11. 活動報告

○事業実施後は、様式③に定める「活動報告書（活動実績・経費精算書・活動写真）」を作成の上、**令和4年1月28日（金）必着**に環保協地域活動支援センターへ提出してください。

※経費精算書の根拠となる貴団体宛の領収書の写しを添付してください。

※活動報告書の様式は、採択された団体宛に別途送付します。

12. その他

○申請書の記載にあたっては、「事業の全体像（事業内容）」と「助成を希望する部分」を明確にしてください。特に、**継続事業**は「工夫したこと」「要件に合致するよう修正した箇所（課題改善）」を具体的に記載してください。

○交付後に活動主旨や内容、経費の用途を大きく変更する場合は、速やかに環保協地域活動支援センターへ連絡してください。

○活動の様子を写した写真は、**報告書とあわせて画像データを提出してください**。写真は、「地域活動支援基金活用事業活動報告書」に掲載するため、極端に画質が悪い場合は、再度、元データの提供をお願いする場合があります。

○実践事例を他の地域に広めるため、当会が主催する研修会等で、実施された事業の事例発表をお願いすることがあります。その場合は、何卒ご協力をお願いいたします。

○助成金を利用して作成した広報物、グッズ等には「**一般財団法人広島県環境保健協会 2021 年度環境と健康のコミュニティ活動助成事業による製作物である**」ことを記載（グッズの形状、面積的な制約で困難な場合は除く）してください。

○助成の申請を行う場合、12月に開催する専門研修「企画づくりコース」をご活用いただき、新規事業の企画、継続事業の見直しなどご検討ください。

【問い合わせ／提出先】

一般財団法人 広島県環境保健協会 地域活動支援センター 担当：原・清水
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 TEL：082(293)1512 FAX：082(293)1524
メール：tatsuya.hara@kanhokyo.or.jp あるいは takami.shimizu@kanhokyo.or.jp

令和3年度「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」
申 請 書 (2次募集)

令和3年 月 日

一般財団法人広島県環境保健協会理事長 様

【公衛協名】 _____

【代 表 者】 _____ 印

【事務担当者】

所 属 _____ 氏 名 _____

住 所 〒 _____

連絡先 _____

「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」について、次の活動を申請します。

1. 区分・テーマ・活動名

区 分	
テーマ	
活動名	

2. 助成希望

_____ 円

*上限10万円までの金額を記入

3. 添付書類

- (1) 活動計画書 (様式①A)
- (2) 経費概算書 (様式①B)
- (3) その他 (継続事業を申請される場合は、これまでの活動内容・実績がわかる資料を添付)

令和3年度「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」活動計画書

活動名				
ねらい				
主体(公衛協名)				
協働団体				
対象者				
活動の概要	*どちらかに○を付けてください			
	新規で実施する事業		継続して実施している事業	
	実施する内容			
	実施場所			
	実施時期		実施回数	
	主催		共催/ 協働団体	
	参加者		参加者数	人
	活動の目標	*具体的な数値目標、思いなど		
	工夫や改善点	*継続して実施している事業を申請している場合は必ず記入してください。		

これまでの活動経過	*これまでの活動経過を具体的に記入し、参考資料があれば添付すること（継続して実施している事業の場合、課題や問題点などがあれば記入してください。）		
活動計画	年 月 日	内 容	場 所
		*実施内容、実施回数、予定参加者（来場者）数、参加者の声を回収できる仕組み（アンケート）の検討など	
期待する効果	*この活動を通じて期待する効果を記入。効果を具体的数値、アンケートなどで示せるように配慮		
次年度以降の展望	*次年度以降どのような取り組みにつなげるかを記入 (課題の改善、地域・エリア、参加団体、協働団体の拡大など)		
特記事項	*課題、懸念事項への対策、緊急時の対応体制などを記入		

令和3年度「環境と健康のコミュニティ活動助成事業」経費概算書

費 目		内 訳	金 額(円)
収入の部	環境協助成金		
	公衛協自己資金	環境・健康募金	
		市町補助金	
		他団体補助金・助成金（名称： ）	
	合 計		
支出の部	環境協助成金充当分	諸謝金	
		旅費交通費	
		消耗品費	
		印刷製本費	
		賃借料	
		通信運搬費	
		雑役務費	
		その他諸経費	
		小 計	
	自己資金など充当分	諸謝金	
		旅費交通費	
		消耗品費	
		印刷製本費	
		賃借料	
		通信運搬費	
		雑役務費	
		その他諸経費	
		小 計	
	合 計		



令和3年度 モデル事業 家庭の食品ロスチェック事業

1. 主旨

「食品ロス」とは、本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品をいいます（消費者庁）。

「食品ロス」は、世界全体で増加傾向にあり、SDGsの目標 12「つくる責任つかう責任」の中で、世界全体の食品廃棄を半減させると記してあり、世界を取り巻く課題です。

この取り組みでは、防災の視点を加味して「家庭の備蓄食品」に着目した、チェックと啓発活動を展開します。

2. 目標

循環型社会形成推進基本法に基づく「循環型社会形成推進基本計画」（H30 年）では、家庭から発生する食品ロスを 2030 年度までに半減することを目標としています。

各家庭で取り組める食品ロス削減運動の第 1 歩として、食料の備蓄量や消費・賞味期限の状況、廃棄せずに消費できているかなどを調査し、適切なローリングストックが各家庭でできていることを目指します。

※ローリングストックとは：「備蓄」を「回転」させること。普段利用している食品を少し多めに購入し、賞味期限の古い物から順に利用し、使った分を買い足すことで、廃棄を出さず、備蓄を行う防災活動です。

3. 実施主体

市町・支部・地区・学区公衛協

※事業の申請書・事業報告書の作成など、事務機能を有する公衛協であることを条件とします。

4. 期間

令和 3 年 7 月 1 日～令和 3 年 11 月 30 日

5. 実施内容

本事業では、リーフレット等を利用した啓発活動と備蓄食品のチェックを実施します。

チェックは、常温で保管している食品の消費期限・賞味期限を確認する他、世帯構成や食品ロスの認知度を調べるアンケートを併せて行います。

(1)リーフレットを活用した啓発活動

- ①回覧や市町広報紙などを活用した配布
- ②既存の会議・研修会（基礎研修）などで、リーフレットや公衆衛生推進手帖を使った学習会（必要に応じて環保協が講師を派遣する）

(2)備蓄食品のチェック

時期	主体	内容
4 月 23 日	環保協	事務担当者会議で実施要領を提示
～6 月中旬	公衛協	モデル事業の参加募集
6 月下旬	環保協/公衛協	参加公衛協決定

7月	環保協	マニュアルとチェックシートを参加公衛協事務局に送付
8月	公衛協	推進委員にマニュアルとチェックシートを配布
8月	推進委員	我が家の備蓄食品のチェックを実施 量や賞味期限などを確認してチェックシートに記録
9月	推進委員	チェックシートの提出(提出方法は次の3通り) ①公衛協事務局へチェックシートを提出 ②メールで環保協へ提出 ③WEB アンケートで環保協へ提出
10月1日	公衛協	集めたチェックシートを環保協へ提出
～11月	環保協	集まったチェックシートの集計・まとめ
12月	環保協/公衛協	代表者会議専門部会(環境部会)で進捗報告
1月	環保協/公衛協	代表者会議定例会で重点メニュー化の審議

6. 経費

5 公衛協の参加を想定し、環保協の地域活動支援基金を財源に充てます。
参加公衛協には、実践状況を基準に抽選で公衛協 PR グッズを進呈します。
その他の経費は各公衛協でご負担ください。

7. 事業の成果の検証

- ①印刷・配布した教材の数量及びアンケートから取り組みの広がりをみます
- ②チェックシートの回答結果から、家庭の保存食品の量やその廃棄量を算出します。
- ③食品ロスの認知度など全国データと比較します。
- ④②の結果をもとに、今後の事業展開について検討し、代表者会議専門部会に諮ります。

8. 持続可能な開発目標(SDGs)について

目標	詳細
	目標 2[飢餓をゼロに] 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。
	目標 4[質の高い教育をみんなに] すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
	目標 6[安全な水とトイレを世界中に] すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。
	目標 12[つくる責任つかう責任] 持続可能な消費と生産のパターンを確保する。
	目標 13[気候変動に具体的な対策を] 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる。

【問い合わせ／提出先】一般財団法人 広島県環境保健協会 地域活動支援センター 担当:馬場田
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 TEL:082(293)1512 FAX:082(293)1524

リーフレット兼調査シート (イメージ)

○ローリングストックとは

使いながら 備蓄 補充

日常生活の中で食料等を多めに常備して使いながら、使った分を買い足し、災害時などに備える備蓄方法をローリングストックと言います。

POINT!

- 食料は最低3日分 × 家族の人数
- 賞味期限等に注意して、古い順に使用し買い足す
- わかりやすい場所に備蓄

災害後は、ライフラインへの影響により、一時的に食料などの入手が困難になる恐れがあるので、最低でも3日分の食料、飲料品の備蓄をしておきましょう。

(出典：広島県)

○どのくらいの備蓄が必要？

夫婦2人と、乳児が1人、子どもが1人、高齢者が1人いる場合に3日間過ごすために最低限必要な備蓄用品

品名	3日間過ごすために最低限必要なもの	※お持ちくださいのもの
水	4L	
缶詰タンパク質	2箱	
粉や粉	3箱	
アトファブ(水、レトルト用)	4箱(小)	●野菜ジュース
●お風呂の石鹸(固形、液体)	1箱	●紙巾(300枚)
●トイレットペーパー(衛生用品)	1箱	●菓子類
●お風呂用、お風呂用	1箱	●液体洗剤(食器)
●洗剤(洗濯用、お風呂用)	1箱	●洗剤(洗剤、洗剤)
●お風呂用、お風呂用	1箱	●お風呂用、お風呂用
●お風呂用、お風呂用	1箱	●お風呂用、お風呂用
●お風呂用、お風呂用	1箱	●お風呂用、お風呂用

(出典：日本気象協会)

○調査票の書き方

レトルト食品とは

定義と食品例を記述

インスタント食品とは

定義と食品例を記述

○ 調査シート ○

市 町：

世帯人数：

- ①防災を意識した保存食品を持っていますか はい / いいえ
- ②保存食品の賞味期限を把握して管理していますか はい / いいえ
- ③保存食品の量はどのくらいの量を想定して準備していますか 日分
- ④食品ロスについて知っていますか 説明できる / 知っている / 知らない
- ⑤保存食品を賞味期限切れで廃棄した経験がありますか はい / いいえ
- ⑥ローリングストックを知っていますか 知っていた / 今回知った / 知らなかった
- ⑦あなたの家にある保存食品について教えてください

	内容	賞味期限が1カ月以内の物	賞味期限が切れていた物
記入例 / レトルト食品	カレー5袋 サトウのごはん5パック	カレー3袋 ごはん2パック	カレー1袋 ごはん1パック
缶詰め 瓶詰め			
レトルト食品			
インスタント食品			
お米			
お菓子			
飲み物			
その他			

提出方法： ○このシートに記入される方は公衛協事務局へ提出してください

○メールで提出される方は、デジタルのチェックシートをご利用ください。
メアド：

○WEBアンケートで提出される方はこちら表示される画面に記入してください。

令和3年度 モデル事業 STOP!フレイル事業



1. 主旨

年齢を重ね心身の活力(筋力、認知機能、社会とのつながりなど)が低下した状態を「フレイル」といいます(フレイルは「虚弱」を意味する「frailty」を語源につくられた言葉)。

広島県の健康寿命は、全国で男性は 27 位(71.97 才)、女性は 46 位(73.62 才)と他県に比べて低いことが課題となっています。

自分自身の状態を知り、日常生活を見直すなど正しい対処をすることで、要介護状態にならない健康長寿ライフをおくるための取り組みをすすめます。

2. 取り組み目標

- ・参加公衛協の推進委員の半分は、「フレイル」を理解し、リーダーとして周囲に広めることができる
- ・「イレブン・チェック」を実施した推進委員の 30%は 1 回目より3回目の方が改善している

3. 実施内容

① 学習する

フレイル予防事業について、公衛協役員が学習し、所属団体に説明・指導できるようにします。

- ・専門研修「フレイル予防コース」 7月 広島県公衆衛生会館/環境協東部支所
- ・代表者会議・専門部会(健康) 8月広島県公衆衛生会館

② チェックする

スタート	フレイルの兆候があるかどうか【イレブン・チェック】 1回目で自分の状態を知る	
折り返し	フレイル予防の効果を【イレブン・チェック】 2回目で、中間段階の状態を確かめる。	
ゴール	予防活動の成果を確認する【イレブン・チェック】 3回目で、2カ月間のフレイル予防の成果をみる	

③ まとめる

チェックカードの提出、事業実施報告書の提出

3. 実施主体

市町公衛協

4. 対象者

公衛協推進委員

5.実施期間

- ① 学習する……7月・8月
- ② チェックする…10月～12月

6.スケジュール

- 7月 学習会 広島県公衆衛生会館/環境保健協会東部支所
 - 8月 学習会 広島県公衆衛生会館

 - 7月末日 申請締め切り

 - 9月 チェックシート、フレイル予防マニュアル配布

 - 10月 スタート:【イレブン・チェック】1回目 自分の状態を知る
- ↑
↓
- フレイル予防
- 11月 折り返し:【イレブン・チェック】2回目 フレイル予防の改善度をみる
- ↑
↓
- フレイル予防
- 12月 ゴール:【イレブン・チェック】3回目 2カ月間のフレイル予防の成果をみる
 - 1月 チェックカード、実施報告書提出締め切り

7.経費

チェックカード(提出用)、マニュアルの作成は、環保協の自主財源を充てます。チェックカードの回収に係る経費は、各公衛協で負担してください。

8. その他

公衛協の実践活動の中で、学習活動や社会参加を行うことがフレイル予防につながります。以下の事業の実現に努めてください。

学習活動(フレイル学習会、歯と口腔から始める健康生活事業、料理教室、各種専門研修、基礎研修、夏季大学、県大会)

運動(ウォーキング事業、運動教室)

実践活動(清掃活動、献血事業)

- “フレイル予防の実践”で公衛協が主催、共催、後援でウォーキング事業を行う場合、公衛協発ウォーキング事業で提供していたリュックを在庫限りで提供します。(毎月実施している事業は四半期に1回)
- “フレイル予防の実践”でウォーキング事業を行う場合、各種貸し出しグッズを用意していますので、ご利用ください。
- フレイル予防に関する事業を新規で行う場合、環境と健康のコミュニティ活動助成事業への申請ができます。

9. 持続可能な開発目標(SDGs)について

目標	詳細
	目標3[すべての人に健康と福祉を] あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する。
	目標4[質の高い教育をみんなに] すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
	目標17[パートナーシップで目標を達成しよう] 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバルパートナーシップを活性化する。

【問い合わせ/提出先】一般財団法人 広島県環境保健協会 地域活動支援センター 担当:岩本
〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 TEL:082(293)1512 FAX:082(293)1524

イレブン・チェック表

フレイルの兆候があるか、11 個の質問に答えてみましょう。

区分	NO.	質問項目	回答(いずれかに○を付けてください)	
食・口腔	Q1	ほぼ同じ年齢の同性と比較して、健康に気をつけた食事を心がけていますか	はい	いいえ
	Q2	野菜料理と主菜(お肉またはお魚)を両方とも毎日2回以上は食べていますか	はい	いいえ
	Q3	「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛み切れていますか	はい	いいえ
	Q4	お茶や汁物でむせることがありますか	いいえ	はい
運動	Q5	1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますか	はい	いいえ
	Q6	日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか	はい	いいえ
	Q7	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか	はい	いいえ
社会参加	Q8	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	いいえ	はい
	Q9	1日1回以上は、だれかと一緒に食事をしていますか	はい	いいえ
	Q10	自分が活気に溢れていると思いますか	はい	いいえ
	Q11	何よりもまず、物忘れが気になりますか	いいえ	はい

*Q4、Q8、Q11は「はい」と「いいえ」が逆になっていますので、注意してください。

*右側に丸の数が多いほど注意が必要です。

3～4個：フレイル予備軍

5個以上：フレイルの可能性が高い

6個以上当てはまる人は、フレイルの危険性が一段と高くなります。日頃の生活習慣を改善していきましょう。

*参考：東京大学高齢社会総合研究機構

全国50以上の自治体で65歳以上の高齢者を対象にしたフレイルチェックの傾向は、全ての項目で右側に○がつく人は、全体の約1割、左側に1個○のつく人は約2割、あとの約7割が左側に3～4個○がつきます。

スタートで右側に○のついた項目を、1か月後の折り返し、2か月後のゴールには左側に○がつくよう意識して行動しましょう。



うちエコ

あなたにオススメ!

診断

診断
無料!



資格を有する“うちエコ診断士”が、
環境省の専用ソフトを使って、
ご家庭のライフスタイルにあわせた
具体的な省エネ・省CO₂対策をご提案します!



うちエコ診断でできること

1. ご家庭の電気代やガス代を平均世帯と比較できます。
2. ご家庭の“どこで”エネルギーを使いすぎているか、原因がわかります。
3. ご家庭の光熱費の効果的な削減対策をご提案します。

節水シャワーヘッドに
エコドライブラ...
これなら無理なくできそう
さあ、次はあなたの番





ご希望に応じた方法で診断いたします

訪問 診断

診断士がご自宅を訪問します。正確な状況把握のため、予め許可をいただいたうえで、家電の性能や家屋の状況を確認する事もあります。また、パソコンとプリンター用の電源をお借りいたしますのでご協力お願いいたします。

窓口 診断

診断実施機関の事務局で診断を行います。
予約の際に決めた日時に事務局までお越しください。

団体 診断

お友だち同士や町内会・サークルなど、団体での申し込みを受け付けます。
診断士がみなさまのお住まいの地域に出向いて診断を行います。
診断場所については、申し込みの際にご相談させていただきます。

会場 診断

イベント会場等で診断を行います。
会場・日時については診断実施機関の事務局にお問い合わせください。

お申し込みに関して

「うちエコ診断事業に関する注意事項」をご確認いただいた上、下記の診断実施機関に「うちエコ診断希望」とご連絡ください。診断日などの調整のため、担当から折り返し連絡いたします。

「うちエコ診断事業に関する注意事項について」

①本事業における個人情報の取り扱いについて

診断に関わる事務局及び診断員は、本事業で収集するすべての個人情報の取り扱いにあたっては、個人情報の保護に関する法定を遵守し、以下に掲げる目的のみに使用いたします。また、収集した個人情報を本事業の業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。

- (1) うちエコ診断実施に伴う連絡調整業務
- (2) うちエコ診断の事前調査業務
- (3) うちエコ診断の診断実施業務
- (4) うちエコ診断の事後調査業務
- (5) うちエコ診断結果及び効果検証のための各種データ分析業務

なお、本事業の性格上、分析結果を公表するなど、外部公開する場合には、個人を特定できない匿名措置を施した上で公開するものとします。

②特定商品等の紹介について

本診断では、特定商品の紹介は行いません。

【お問い合わせ・お申し込み】 広島県うちエコ診断実施機関

脱温暖化センターひろしま（一財）広島県環境保健協会内

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1

TEL：082-293-1512 FAX：082-293-1524



100世帯が受診！

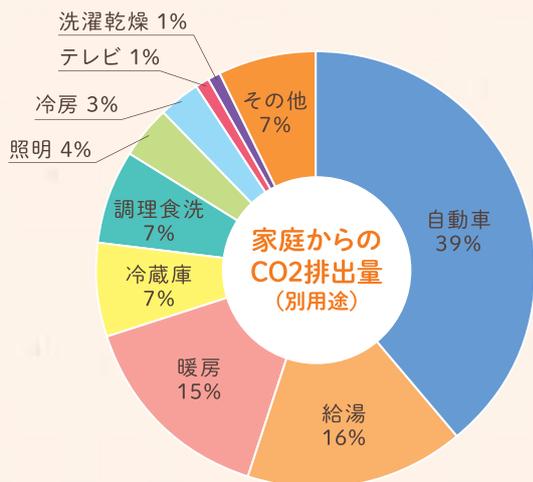
29,000kg-CO₂/年の削減効果！

※100名中、事後アンケート回答者(31名)の取り組み結果から換算。

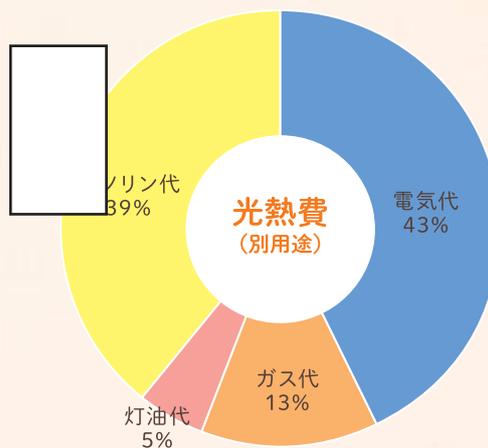
どうしてうちエコ診断？

あなたのエネルギーの使い方がわかります！

おうちの光熱費、家電や車についてうかがうことで、どこからたくさんCO₂が出ているのか、どこにたくさんお金がかかっているのかが見えてきます。



1世帯あたり
約**5,700kg-CO₂/年**



1世帯あたり
約**31万円/年**

データ元：平成29年度 当実施機関うちエコ診断の結果

光熱費を減らすチャンスです！

うちエコ診断で
-約**940kg-CO₂/年** 減った！

家庭からのCO₂排出量、
1世帯あたりの見なし削減量。



受診者の皆様の声
他の家庭と比べられるのが新鮮！
意外と順位がよくて嬉しかった。

うちエコ診断で
-約**5万円/年** 減った！

年間の光熱費(電気、ガス、灯油、ガソリン代の合計)、
1世帯あたりの見なし削減額。



受診者の皆様の声
電気代がいくら安くなる、など
具体的な数字が見えてやる気が出た。



うちエコ診断の流れ

STEP.1

診断のお申し込み

裏面のお問い合わせ先に「うちエコ診断希望」とご連絡ください。

STEP.2

事前アンケート

光熱費や機器の使い方をうかがうアンケートです。より正確な診断のために必要です。

目安時間
30~40分

STEP.3

うちエコ診断

診断士が専用のソフトを使い、一緒にパソコンの画面を見ながらすすめます。

STEP.4

おうちで実践!

提案された対策にチャレンジ!

STEP.5

事後アンケート

診断から数ヶ月後に、診断後のお取り組み状況などをうかがうアンケートをお送りします。

診断画面

①立ち位置の確認



ご家庭の光熱費等を「見える化」し、平均的な家庭に比べてどれくらいの位置にいるか確認できます。

②目標を決める



家庭でのCO2排出量削減目標を決めます。

③CO2の見える化



家庭のどの分野からCO2が多く排出しているか、チェックします。

④総合的な対策



受診者のライフスタイルに応じたオーダーメイドの対策を話し合いながら決めていきます。

個別の対策

給水節水の対策の場合



- ・シャワー1日1分短縮
 - ・手元止水節水シャワーヘッドに交換
- 2つの対策を選んだら、25%のCO2を削減

冷蔵庫の対策の場合



8年前に買った冷蔵庫を買い替えると39%のCO2を削減



うちエコ診断会実施までの流れ

1. 事業概要

広島県は、低炭素社会づくりに向けて、広く県民にCO₂削減の取り組みを促すきっかけづくりとして、うちエコ診断の受診を勧めています。これに協力して、広島県うちエコ診断実施機関（脱温暖化センターひろしま）は、各種イベント等で、来場者を対象にうちエコ診断会の開催を無料で承ります。

当日は、環境省認定の資格を持ったうちエコ診断士が、専用ソフトを用いて、各家庭のライフスタイルに合わせた省CO₂・省エネ対策を提案いたします。事前申込が不要の簡易診断（15分程度）と、事前申込が必要な詳細診断（50分程度）があります。受診者の方には省エネグッズをプレゼントします。

2. 申し込みの流れ

① 事前予約申し込み

※開催が決まり次第早めにご連絡ください。

イベントの開催が決まりましたら、まずはお電話にて事前予約申し込みをお願いします。

開催日時、開催場所、派遣診断士の希望人数を教えてください。

『うちエコ診断会実施申込書』を送ります。

連絡先：082-293-1512（担当：松尾）

② 申し込み

事前予約申し込み後、『うちエコ診断会実施申込書』に必要事項を記入のうえ、

メールまたはFAXにてご提出ください。

③ 診断士の決定

『うちエコ診断会実施申込書』を受取り、派遣する診断士の調整を行います。

診断士の旅費・謝金は、広島県うちエコ診断実施機関が負担します。

④ イベント当日

開始時間の30分前を目安に、診断士が会場へ到着します。

診断に必要な機材は持参しますが、以下のものはご準備ください。

【ご用意いただくもの】

診断士1人につき、長机1台・椅子2脚・電源

=問い合わせ先=

広島県うちエコ診断実施機関（脱温暖化センターひろしま）

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1（一財）広島県環境保健協会内

TEL (082) 293-1512 FAX (082) 293-1524 担当：松尾

うちエコ診断会実施申込書

申込日:令和 年 月 日

申込者	ふりがな			
	団体名			
	ふりがな			
	担当者氏名			
	住所	〒 -		
	電話番号	() -		
	FAX	() -		
	メールアドレス			
イベント名		受診世帯数 (予定)	件程度	
日時	令和 年 月 日(曜日) : ~ :			
派遣希望 診断士数	名			
派遣場所 (会場)	会場名			
	住所	〒 -		
	当日緊急連絡先	() -		
	駐車場の有無	有 ・ 無		
備考 (ご要望や 留意点など)				

《イベント当日ご用意いただくもの》

診断士 1 人につき、長机 1 台・椅子 2 脚・電源

申込書提出先:FAX(082-293-1524)または、メール(youko.matsuo@kanhokyo.or.jp)まで

【問い合わせ先】

広島県うちエコ診断実施機関(脱温暖化センターひろしま)

〒730-8631 広島市中区広瀬北町 9-1 (一財)広島県環境保健協会内

TEL(082)293-1512 FAX(082)293-1524 担当:松尾